
終端を願う

睦月健人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

終端を願う

【Nコード】

N9273V

【作者名】

睦月健人

【あらすじ】

もしかしたら私はその手にすがったのかもしれない。優しい小さな手に……。『ユウガオノキミ』のウルビダサイド。短編では語りきれなかった部分を補完、さらにその後の話も掲載予定。

0 チカトリーチェ

寂しい

悲しい

痛くてつらい

刺すように冷たい

なのに

焦げ付くように熱い

ああ こんなんじゃない

伸ばされた手も掴めない

伸ばされるはずも

ないけれど

誰も私を知らない

覚えていない

知っていたよ

私は一人だ

世界から投げ出された
一人でずっと生きてきた

どこが終わりで
どこが始まりで
私はどこに行けるんだろう？

そう思つて
諦めかけたとき
手が私を引っ張り上げた

小さな手
温かい手
優しい手

私はすがつたのかもしれない
掬い上げてくれた
あの子の小さな手に

頼ったのかもしれない
甘えたのかもしれない

もう分からないけれど

そうして私は

遠い昔に捨ててしまった世界へ

小さな手に引かれるまま

一步を踏み出した

1 イデアール

理想

思想

希望

お前が信じたのは

愛

目を覚ますとそこにあの子がいた。

迷子になった私を見つけ出したあの子。

何の因果か、私によく似ていた。

私はずっと、そばにいた。

あの子の母親が自殺したとき、私はあの子を守ろうとした。どうしてかは分からない。人間を卑下する意識さえ有ったのにも関わらず、私は『あの子を救おうとした』。

この世界に生まれてから、私は誰かを愛したことは一度しかなかった。

それは私を生んだ人だった。

それからずっと私は一人だった。

あの子は、私が守ってやらなくちゃ。

あの子は、私が助けるんだ。

そう思ったらどうしてだろう？

私を助けてくれたあの子を、助けることに決めた。

私の『心』は再び息を吹き返し、生き始めた。

私の本当の名前は、イデアールという。

ウルビダという名前は玲名がくれたもの。

イデアールという名前は私を作り出したあの人がくれたもの。

ある種の理想を抱いて私を作ったあの人。

私の名前にも理想を込めた。

イデアールとはイタリア語で理想。

私は理想の元生きていくよう運命付けられた存在なのかもしれない。

玲名は強い私を望む。

弱い自分を嫌うあまり私に理想を求めている。

玲名は弱いわけではない。

優しすぎるだけだ。

その優しさを、私は尊い強さだと思う。

私が持たない強さを持っているあの子を、私は誇りたい。

創られた心しか持たなかった私に、

『本当の心』をくれた

玲名を。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9273v/>

終端を願う

2011年10月5日20時37分発行